

新型コロナウイルス感染症への対応

感染予防対策と事業を通じた課題解決・機会創出に向けて、国内外グループ間の蜘蛛の巣型経営で取り組んでいます。

当社の取り組み

当社では、新型コロナウイルス感染症への対応として、各国政府、関係機関のガイドラインにしたがい、従業員の安全を最優先に考え、事業継続計画(BCP)に基づいた対応を柔軟に進めています。社会の産業やインフラを支える重要な要素を担っている当社製品をお客さまへ継続的に提供する社会的責任を果たすとともに、塗料とコーティングの技術の開発に全力を注ぎ、今後の新製品・新サービスの提供を通じて、社会への貢献と事業活動を前進させていきます。

欧州

- 各国の外出制限措置期間中はマネジメントと従業員間、各社マネジメント間のコミュニケーションを密に行い、従業員の安全確認、確保を徹底
- 顧客とのコミュニケーションを維持し、顧客生産変化に柔軟に対応
- 2-3月には、欧州からマスクを日本へ、3月にはシンガポールから欧州へ、4-5月には日本から欧州へマスクや手袋を送付し従業員へ配布
- 近隣の公立病院へマスク2,000枚を寄付(フランス)
- 社内でマスクや消毒液を作成し、従業員に配布(チェコ)

中国

- 6月 ● 日本へマスク80万枚送付
- 4月 ● コロナ対策として6種類のガイドラインを設け、従業員に周知徹底
- 2月 ● NPCが湖北省の病院に抗ウイルス・抗菌塗料を寄付
- 2月 ● 中国赤十字社・上海赤十字社に、合計200万円を日本から寄付
- 2月 ● 日本からマスク追加分4万枚を送付
- 2月 ● Betek Boya, Nippon Paint Indiaなどから合計20万枚以上のマスクを送付
- 1月 ● 日本からマスク6万枚を送付
- 1月 ● NPCが湖北省咸寧市の赤十字社に200万円を寄付
- 1月 ● 中国の現地法人NIPPON PAINT CHINA(NPC)、中国とアジアを統括するシンガポールの現地法人Nipsea Management Company(NMC)が「緊急対策本部」を立ち上げ

米国

- 経営陣は、ITを駆使したテレワーク環境下、日々の活動の中心を「事業継続」と「コミュニケーション」に積極的にシフト
- 店舗運営では、感染防止対策を強化し来店客への感染を防止、需要に応じて営業時間・人員を増減
- 生産・流通では、感染防止対策を最優先し、変化する需要に対して有機的に生産・流通を調整
- 機能部門では、顧客の資金繰りを理解しながら、与信額を機能的に管理

新型コロナウイルスへの対応に関する3つの基本方針

1. 従業員とその家族をコロナウイルス感染から守る
2. 世界中の事業を守るために資金繰りを確保する
3. 事業継続計画(BCP)を固める

新型コロナウイルスに対する最新の対応状況については、当社ウェブサイト「新型コロナウイルスへの当社対応について」をご覧ください。
https://www.nipponpaint-holdings.com/global_topics/2020050801

日本

- 9月 ● 国内医療機関へ消毒液1,920リットルを寄贈
- 7月 ● 社員を守る安全・安心な職場環境の構築に向けて、グループ全社社員を対象に、派遣社員を含む希望者全員へPCR検査実施(7月末から順次実施)
- 6月 ● 国内医療機関へ消毒液1,700リットルを寄贈
- 6月 ● 中国から入手した医療用マスク約14万枚を国内医療機関へ寄贈
- 6月 ● 公共施設へ抗菌・抗ウイルス塗料「パーフェクトインテリアエアークリーン」の無償提供を決定
- 4月 ● 金融機関から1,800億円のコミットメントライン(借入れ枠)の設定と500億円の資金借入れを実施
- 3月 ● 世界のグループ会社から入手した医療用マスク約4万枚を国内医療機関へ寄贈
- 3月 ● 子ども用SSサイズのマスク約4,300枚を大阪市北区に寄贈
- 2月 ● 「国内社員対応ガイドライン」(2月21日発行)を更新し、国内全社員に配布
- 1月 ● 「新型コロナウイルス感染対策本部」を立ち上げ

トルコ

- eコマースでの販売を開始
- 25,000人の塗装職人に400万トルコリラ相当の食料パッケージを送付
- 600トンの塗料で学校を支援
- コロナ対策として6種類のガイドラインを設け、従業員に周知徹底

豪州・ニュージーランド

- 従業員、お客さま、地域社会の健康と安全を守ること、事業の長期的な強さを守ることに注力
- 事業継続計画(BCP)を立て、お客さま、サプライヤー、各国政府と緊密に連携
- 全体的には事業は順調に運営され、変化する状況に適応

